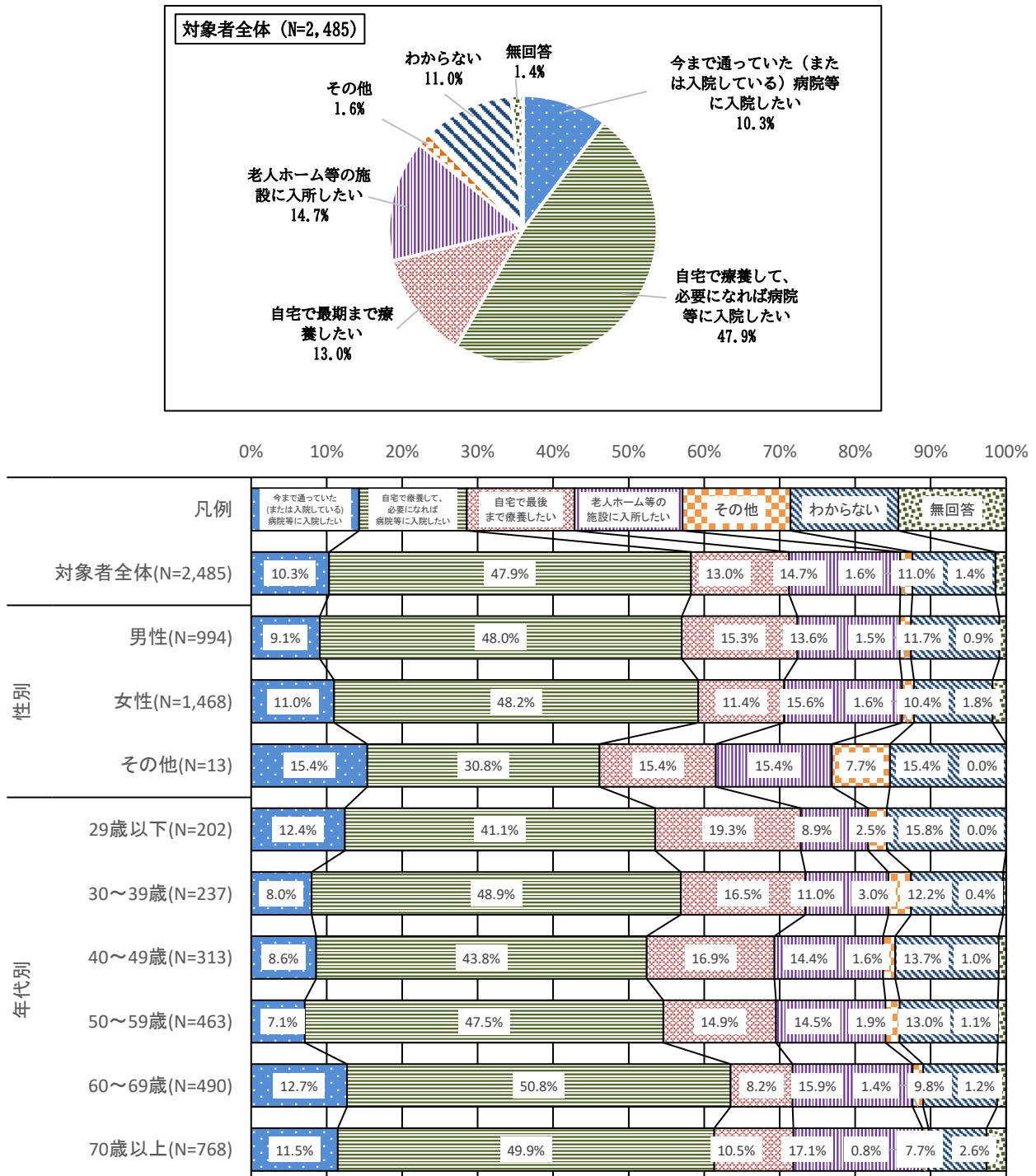


(2) 在宅医療・ACPについて

◇人生最期の過ごし方について

問6 あなたは、高齢や病気などが理由で通院することが困難となった場合に、人生の最期の時をどのように過ごしたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

人生最後の過ごし方について、「自宅で療養して必要になれば病院等入院したい」が47.9%



【全 体】人生最期の過ごし方については、「自宅で療養して、必要になれば病院等入院したい」が47.9%、「老人ホーム等の施設に入所したい」が14.7%、「自宅で最期まで療養したい」が13.0%となっている。

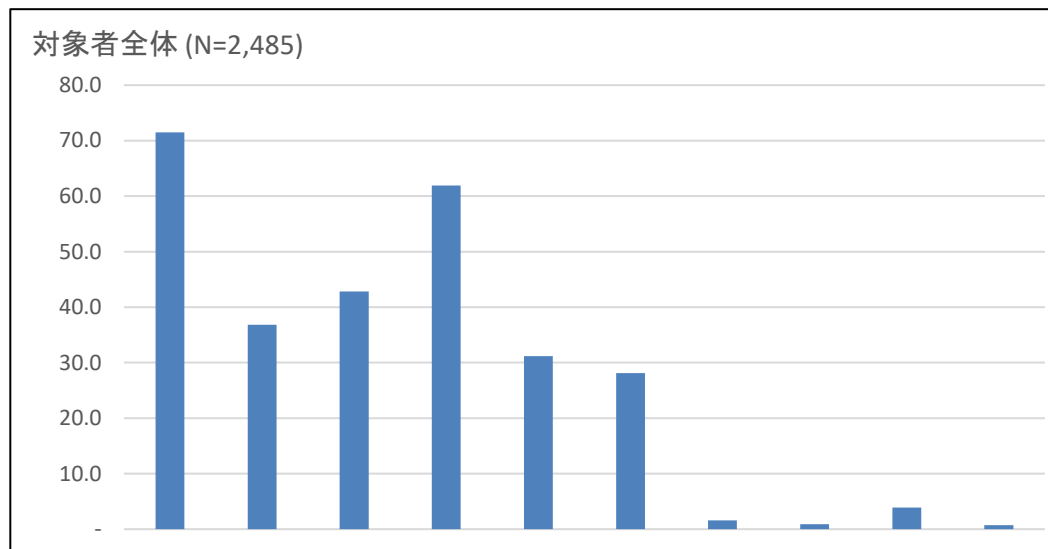
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「自宅で療養して、必要になれば病院等入院したい」が60歳代（50.8%）で最も高く、最も低い29歳以下（41.1%）と比べると9.7ポイントの差となっている。

◇在宅医療への懸念

問7 あなたは、高齢や病気などが理由で通院することが困難となった際に、仮に在宅医療を利用するとした場合、どのようなことに不安がありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

在宅医療への懸念について「家族等への負担」が71.5%



		対象者数	家族等への負担	受けられる医療の内容	突然の体調変化等への対応	経済的な負担	自宅での療養できない住環境	介護してくれる家族等がいない	その他	特になし	わからない	無回答
		(%)										
対象者全体		2,485	71.5	36.8	42.8	61.9	31.2	28.1	1.6	0.9	3.9	0.7
性別	男性	994	71.5	34.5	37.8	62.7	28.8	23.2	1.1	1.1	4.5	0.4
	女性	1,468	71.7	38.1	46.3	61.2	32.8	31.2	1.8	0.7	3.4	0.9
	その他	13	61.5	69.2	61.5	92.3	46.2	61.5	7.7	-	7.7	-
年代別	29歳以下	202	80.7	36.6	42.1	65.8	29.2	16.8	1.0	1.0	6.9	-
	30～39歳	237	77.6	30.4	35.9	73.4	31.6	27.4	1.3	0.4	3.8	-
	40～49歳	313	74.4	36.4	33.5	73.8	36.4	26.8	1.0	1.0	4.2	0.3
	50～59歳	463	73.4	36.3	41.3	70.8	31.7	31.1	2.2	0.2	1.9	0.6
	60～69歳	490	69.4	38.4	48.4	62.0	29.4	30.8	0.8	0.6	2.7	0.6
	70歳以上	768	66.7	38.3	46.9	47.1	30.5	28.5	2.1	1.6	4.9	1.3

■ 対象者全体と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体と比較し10ポイント以上低い

【全 体】在宅医療への懸念は、「家族等への負担」が71.5%、「経済的な負担」が61.9%、「突然の体調変化等への対応」が42.8%となっている。

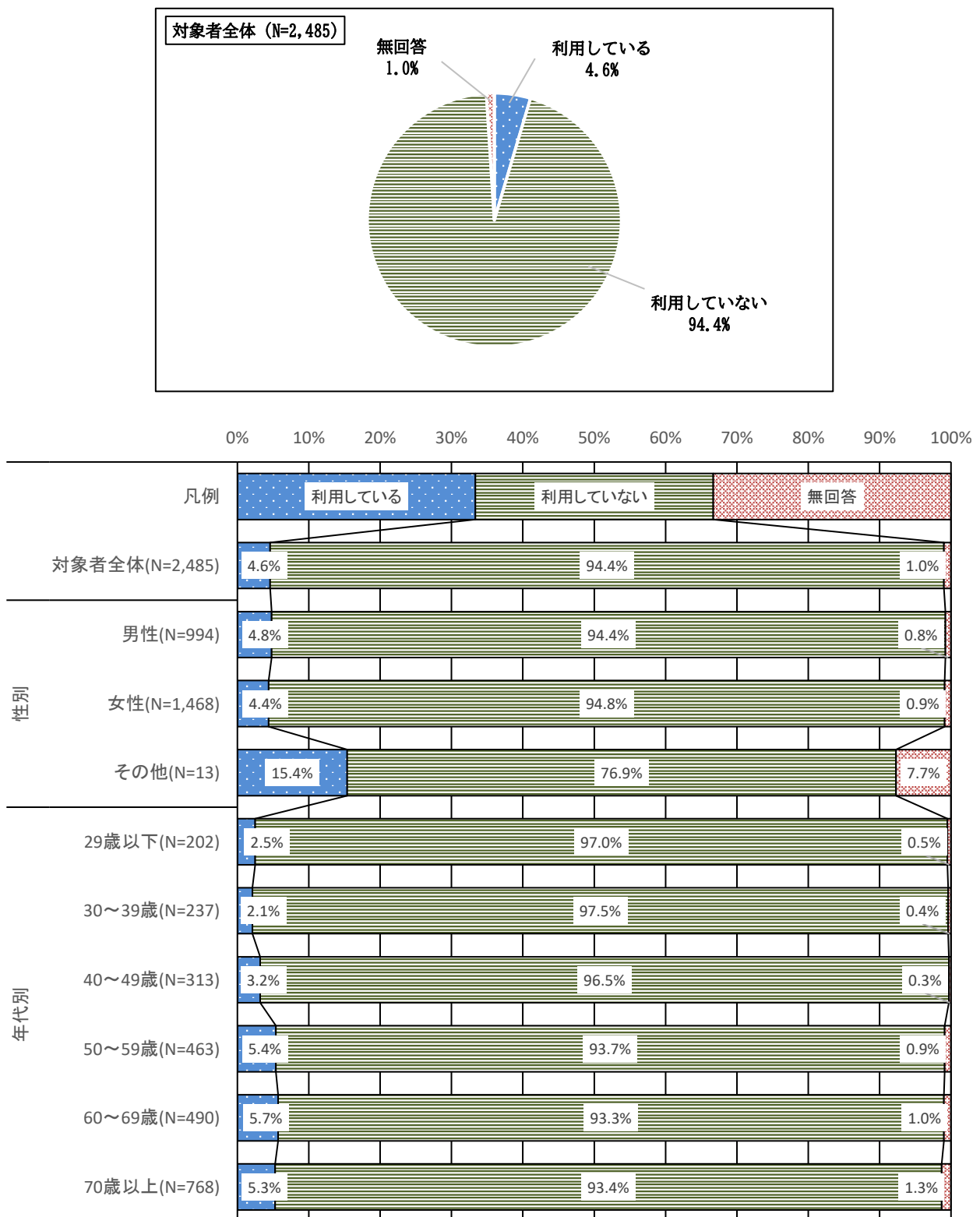
【性 別】「突然の体調変化等への対応」は女性が46.3%と、男性の37.8%より8.5ポイント高くなっている。また、「介護してくれる家族等がいない」は女性が31.2%と、男性の23.2%より8.0ポイント高くなっている。

【年代別】「家族等への負担」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇在宅医療の利用状況

問8 あなたやあなたのご家族は、現在在宅医療を利用していますか。

在宅医療の利用状況について「利用している」が4.6%



【全 体】在宅医療の利用状況は、「利用していない」が94.4%、「利用している」が4.6%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

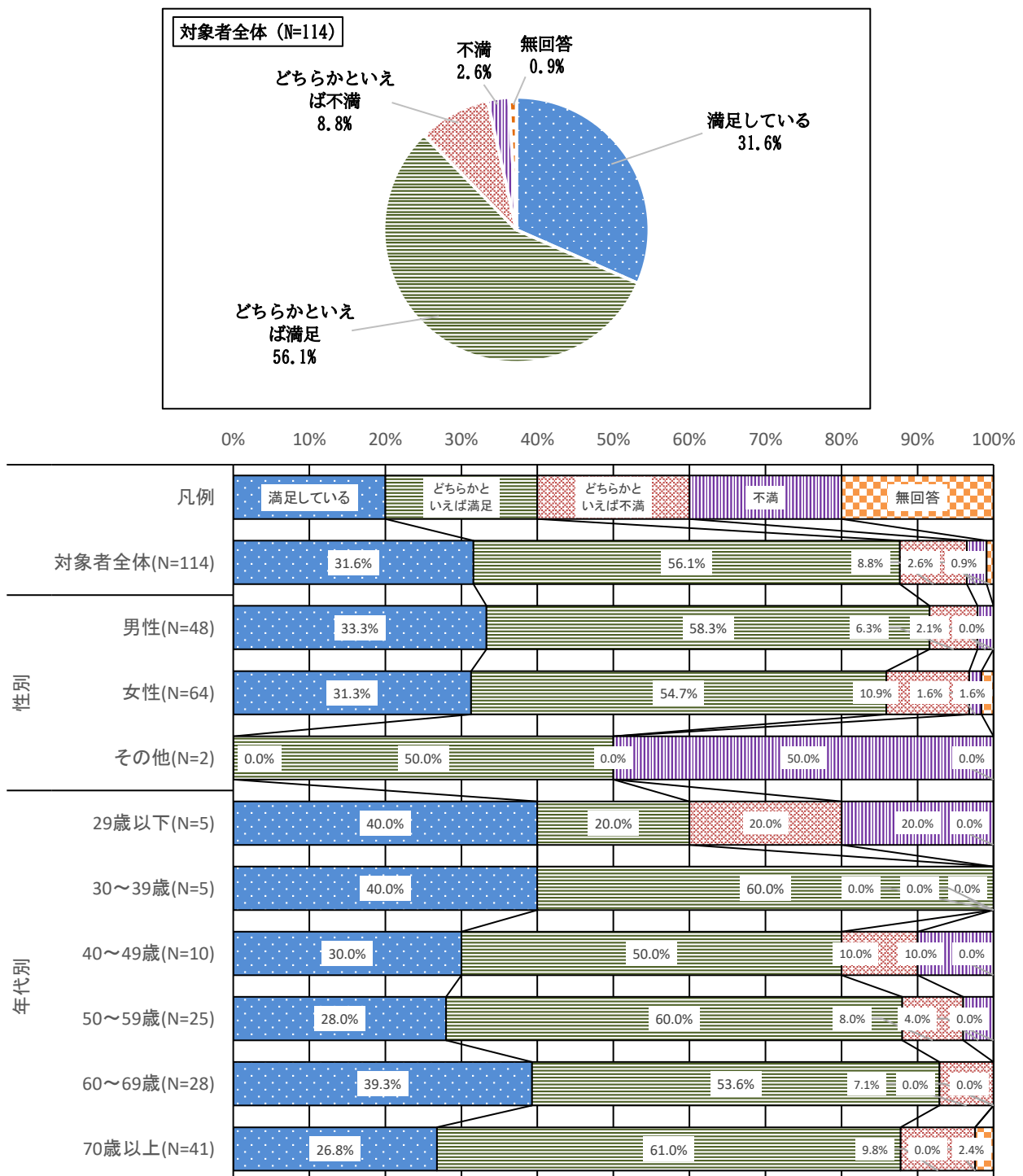
【年代別】「利用している」が60歳代(5.7%)で最も高く、最も低い30歳代(2.1%)と比べると3.6ポイントの差となっている。

◇利用中の在宅医療への満足度

《問8》で「1 利用している」と答えた方にお聞きします。》

問8-1 あなたやあなたのご家族は、現在利用している在宅医療に満足していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

利用中の在宅医療への満足度について「どちらかといえば満足」が56.1%



【全 体】利用中の在宅医療への満足度は、「どちらかといえば満足」が 56.1%、「満足している」が 31.6%、合わせると 87.7%となっている。一方で、「どちらかといえば不満」が 8.8%、「不満」が 2.6%、合わせると 11.4%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

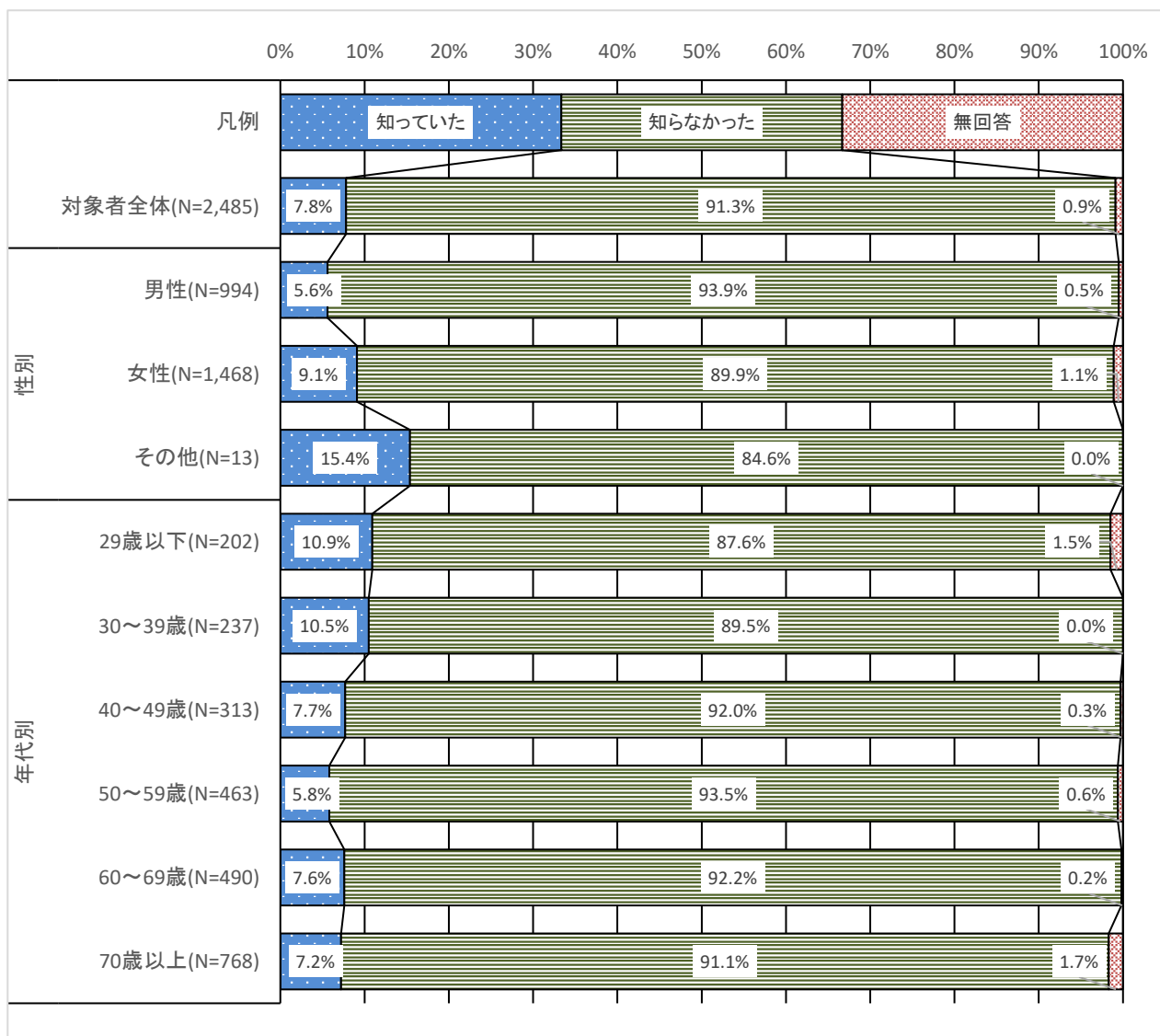
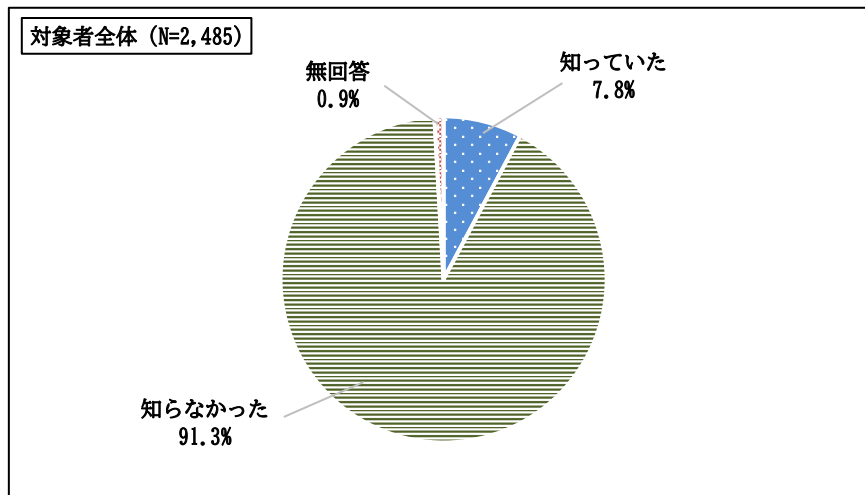
【年代別】「どちらかといえば満足」が 70 歳以上 (61.0%) で最も高く、次いで 50 歳代 (60.0%)、30 歳代 (60.0%) となっている。

◇ACP・人生会議の認知度

「皆さまにお聞きます。」

問9 あなたは、「ACP」や「人生会議」という言葉を知っていましたか。

ACP・人生会議の認知度について「知っていた」が7.8%



【全 体】 ACP・人生会議の認知度は、「知らなかった」が91.3%、「知っていた」が7.8%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

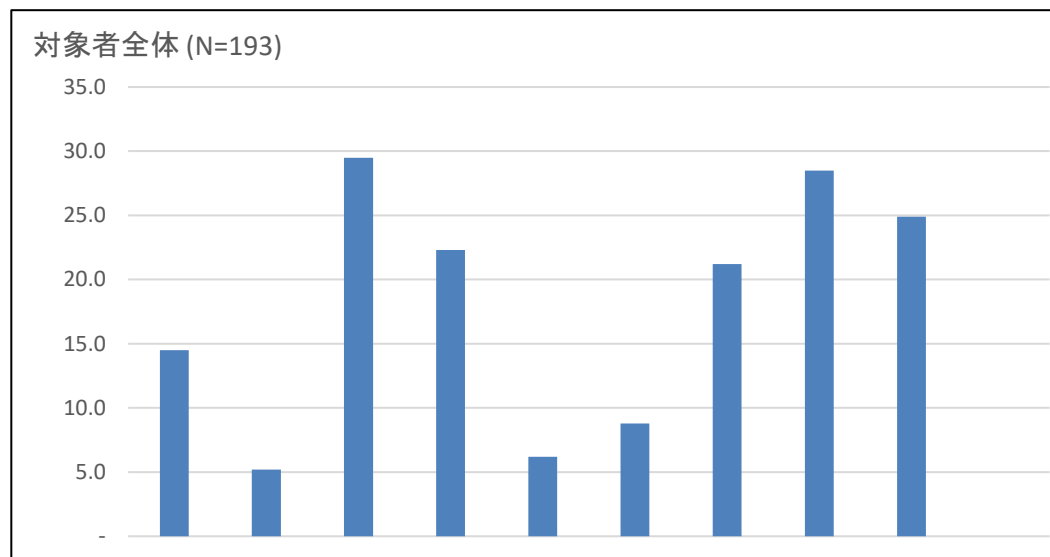
【年代別】 「知っていた」が29歳以下(10.9%)で最も高く、最も低い50歳代(5.8%)と比べると5.1ポイントの差となっている。

◇ACP・人生会議を知ったきっかけ

「問9」で「1 知っていた」と答えた方にお聞きします。」

問9-1 あなたは、「ACP」や「人生会議」をどのような方法で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

ACP・人生会議を知ったきっかけは「テレビ・ラジオ」が29.5%



		対象者数	札幌市が発行している冊子やパンフレット	札幌市の公式ホームページ	テレビ・ラジオ	新聞	札幌市以外が発行している冊子やパンフレット	札幌市公式以外のインターネット	研修会・講演会等	医療機関で教えてもらった	その他	無回答
		(%)										
対象者全体		193	14.5	5.2	29.5	22.3	6.2	8.8	21.2	28.5	24.9	-
性別	男性	56	17.9	12.5	33.9	25.0	8.9	12.5	19.6	23.2	17.9	-
	女性	133	12.8	2.3	27.1	21.1	5.3	7.5	21.8	31.6	28.6	-
	その他	2	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-
年代別	29歳以下	22	4.5	9.1	4.5	4.5	4.5	9.1	22.7	27.3	40.9	-
	30～39歳	25	-	-	12.0	4.0	4.0	8.0	24.0	36.0	44.0	-
	40～49歳	24	-	-	4.2	-	4.2	20.8	20.8	33.3	41.7	-
	50～59歳	27	14.8	-	25.9	11.1	7.4	3.7	29.6	37.0	14.8	-
	60～69歳	37	8.1	5.4	45.9	32.4	5.4	16.2	24.3	35.1	10.8	-
	70歳以上	55	34.5	10.9	47.3	47.3	9.1	1.8	14.5	16.4	18.2	-

対象者全体と比較し10ポイント以上高い
対象者全体と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 ACP・人生会議を知ったきっかけは、「テレビ・ラジオ」が29.5%、「医療機関で教えてもらった」が28.5%、「その他」が24.9%となっている。

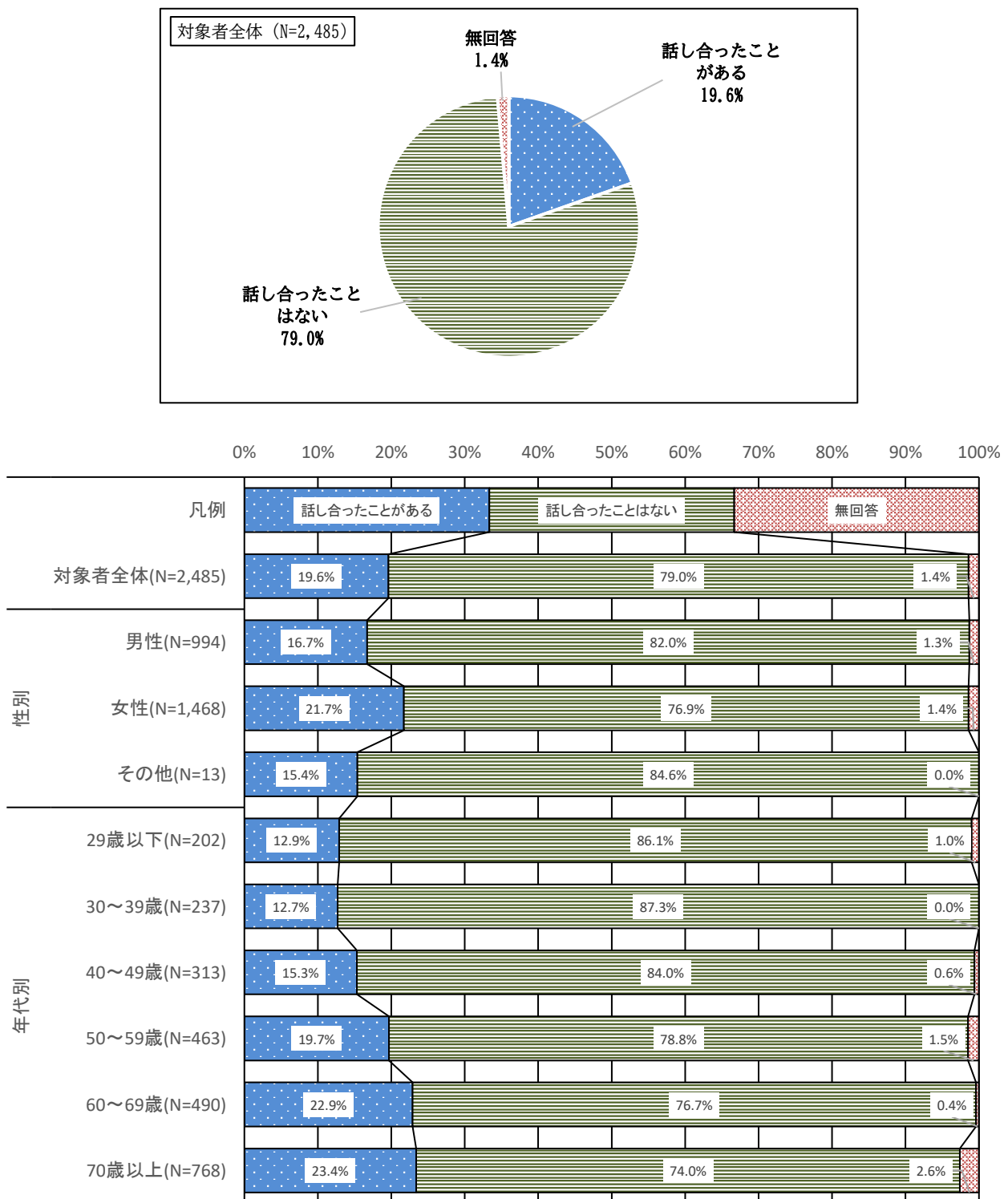
【性 別】「札幌市が発行している冊子やパンフレット」「札幌市公式ホームページ」「テレビ・ラジオ」「札幌市公式以外のインターネット」は、男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。一方で、「医療機関で教えてもらった」「その他」は、女性が男性より8.4ポイント以上高くなっている。

【年代別】29歳以下、30歳代、40歳代では「その他」が最も高く、50歳代では「医療機関で教えてもらった」、60歳代では「テレビ・ラジオ」、70歳以上では「テレビ・ラジオ」「新聞」が同率で最も高くなっている。

◇人生最期に希望する医療の相談状況

問 10 あなたは、人生の最期の時に望む医療やケアについて、家族や医療関係者と話し合ったことはありますか。

人生最期に希望する医療の相談状況について「話し合ったことがある」が19.6%



【全 体】人生最期に希望する医療の相談状況については、「話し合ったことはない」が 79.0%、「話し合ったことがある」が19.6%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

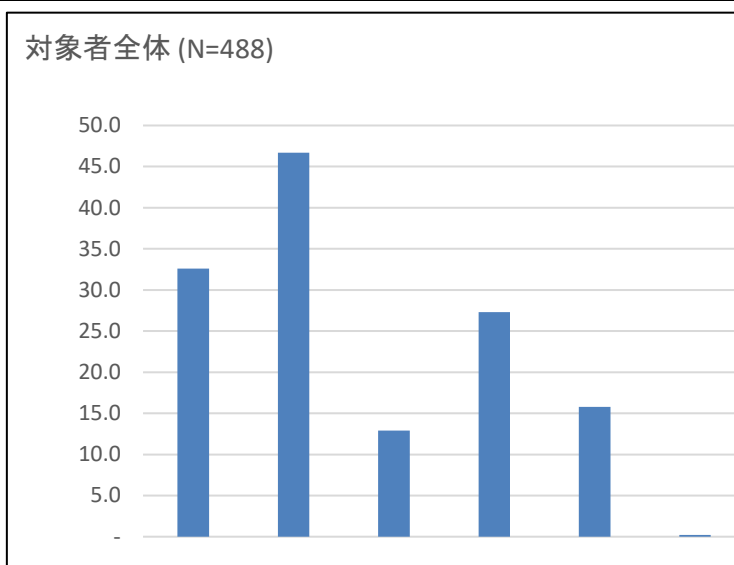
【年代別】「話し合ったことがある」は70歳以上(23.4%)で最も高く、最も低い30歳代(12.7%)と比べると10.7ポイントの差となっている。

◇人生最期に希望する医療の相談タイミング

《問10》で「1 話し合ったことがある」と答えた方にお聞きします。》

問10-1 あなたは、人生の最期の時の医療やケアについて、どのような時に家族や医療関係者と話し合っていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

人生最期に希望する医療の相談タイミングは「体調や病状に変化があったとき」が46.7%



		対象者数	病气やけがで入院したとき	体調や病状に変化があったとき	人間関係に変化があったとき	定期的に話し合っている	その他	無回答
		(%)						
対象者全体		488	32.6	46.7	12.9	27.3	15.8	0.2
性別	男性	166	39.2	49.4	11.4	26.5	15.7	0.6
	女性	319	29.5	44.8	13.8	27.9	16.0	-
	その他	2	-	100.0	-	-	-	-
年代別	29歳以下	26	34.6	30.8	19.2	30.8	7.7	-
	30～39歳	30	13.3	50.0	10.0	33.3	16.7	-
	40～49歳	48	37.5	47.9	18.8	25.0	14.6	-
	50～59歳	91	27.5	34.1	18.7	33.0	19.8	-
	60～69歳	112	31.3	53.6	9.8	27.7	17.0	-
	70歳以上	180	37.8	50.0	10.0	23.3	14.4	0.6

■ 対象者全体と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体と比較し10ポイント以上低い

【全 体】人生最期に希望する医療の相談タイミングは、「体調や病状に変化があったとき」が46.7%、「病气やけがで入院したとき」が32.6%、「定期的に話し合っている」が27.3%となっている。

【性 別】「病气やけがで入院したとき」は男性が39.2%と、女性の29.5%より9.7ポイント高くなっている。

【年代別】29歳以下では「病气やけがで入院したとき」が最も高く、それ以外の年代では「体調や病状に変化があったとき」が最も高くなっている。